

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 1202003

政策目標	3 のびやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	13 生涯学習・生涯スポーツの推進	事業優先度	B	
単位施策	2 学習・スポーツ活動の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	生涯学習推進事業	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	12 教育委員会教育振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	学習会・講座の開催		#N/A	
事業目標	生きがい大学・町民大学・成人講座の開催	ハード/ソフト事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	2	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	平成23年度 事業内容	平成24年度 事業内容	
計画内容	○生涯学習の推進事業 ・高齢者教室「生きがい大学」 ・町民大学 ・成人講座	「生きがい大学」の開催 紋別地区高齢者教室交流の集い 「町民大学」の開催 「成人講座」の開催	「生きがい大学」の開催 「町民大学」の開催 「成人講座」の開催	「生きがい大学」の開催 「町民大学」の開催 「成人講座」の開催	「生きがい大学」の開催 「町民大学」の開催 「成人講座」の開催	「生きがい大学」の開催 「町民大学」の開催 「成人講座」の開催	
	事業費(千円)	3,500	950	650	650	600	
計画事業費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	200				200	
一般財源	3,300	950	650	650	400		
実績事業費	事業費(千円)	2,732	816	547	377	322	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	400				200		
一般財源	2,332	816	547	377	470		
関連事項	(特定財源の詳細等) 地域づくりアドバイザー 事業助成金	【評価・実績】	(実施内容等) 「生きがい大学」の開催(9回) 紋別地区高齢者教室交流の集い 参加者:紋別地区 297名 「町民大学」の開催(4回) 「成人講座」の開催(2回)	(実施内容等) 「生きがい大学」の開催(8回) 「町民大学」の開催(4回) 「成人講座」の開催(0回)	(実施内容等) 「生きがい大学」の開催(9回) 「町民大学」の開催(4回) 「成人講座」の開催(1回)	(実施内容等) 「生きがい大学」の開催(10回) 「町民大学」の開催(4回) 「成人講座」の開催(1回) 「図書セミナー」の開催(2回)	
			※前年度評価結果	※前年度評価結果 A—継続/現状維持	※前年度評価結果 A—継続/現状維持	※前年度評価結果 A—継続/現状維持	
	第4期総合計画関連 (継続無し)	年度目標値	生きがい10回、町民4回、成人3回	生きがい10回、町民4回、成人3回	生きがい10回、町民4回、成人3回	生きがい10回、町民4回、成人1回、図書を活用したまちづくりセミナー2回	生きがい10回、町民4回、成人3回
		年度達成率	86%	84%	58%	103%	54%
		全体達成率	23%	39%	50%	69%	78%
	事業進捗状況	☆☆☆	☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	

事業名	生涯学習推進事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	生涯教育係長	佐藤 公輔

平成24年度実施
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	各学級、講座の開設数								
【抱える課題やニーズは】	町民の多様な学びのニーズの把握と共に学び合う活動支援体制	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	各世代層や生活向上につながる学習機会の提供	① 生きがい大学(8) 町民大学(4) 成人講座(1) 地域づくりアドバイザー事業(3)	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>17回</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>16回</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>94.1%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	17回	実績値	16回	達成度	94.1%
目標年度	平成24年度										
目標値	17回										
実績値	16回										
達成度	94.1%										
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	学習による成果を地域のために活かす機会の提供	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0!%</td></tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	生きがい大学	「講和・移動学習・芸術鑑賞会・スポーツ交流・西紋地区交流会」8回									
	町民大学・成人講座	「北海学園大学開発研究所講座」4回、「書道講座」通年									
	地域づくりアドバイザー事業	「雄武町図書館を考える会」へのアドバイザー招へい(3回)～図書館の現状・課題・今後のあり方									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	社会情勢の変化に主体的に対応する町民の学習支援を行うため必要である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	社会教育委員などによる講師選定により、幅広い学習機会を提供しており、住民意欲の向上につながっている。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	町民ニーズに対応したプログラム内容に工夫するなど、参加率の向上と事業費精査を行いつつ効果的に実施している。また、本年度は、北海学園大学開発研究所が実施する講座を、町民大学に位置付けて実施したことから、無償で実施している。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	町民全てが参加できるように配慮した内容で実施している。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画どおりに実施でき、効果的に事業の推進を図ることができた。		



継続/現状維持		
継続した事業の実施を図ることで、多様な学習の機会が提供でき、地域における生涯学習への理解と学習への意欲向上につながる。		

※展開方向の区分
 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 ○終了 ○休止 ○廃止